

東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト



東北の子ども達が
世界に羽ばたく為に

Support Our Kids Charity Auction Dinner

2017 3/22 Wed

会場: 八芳園 1F「ジュール」

受付開始18:00 開場18:30 開会19:00

※受付開始から
サイレントオークションを実施

チャリティライブ Charity Live

クミコ (歌手)

1978年「世界歌謡祭」に日本代表の一人として参加。
1982年シャンソニエの老舗・銀座「銀巴里」でプロ活動をスタート。
2011年3月11日、コンサートで石巻に訪れた際、東日本大震災に遭遇し被災。
以来、音楽活動やラジオ放送を通じて、精神的に復興支援活動につとめる。
代表曲は、「INORI〜祈り〜」、「広い河の岸辺〜The Water Is Wide〜」や、湯川れい子作詞、つくく作曲
による「うまれてきてくれてありがとう」など。最新曲、松本 隆作詞、秦 基博・永積 崇作曲の両A面
シングル、クミコ with 風街レビュ「さみしいときは恋歌を歌って/恋に落ちる」好評発売中。

佐藤 玲花 (カナダステイ2013参加生徒/岩手県大船渡市/高校2年)

ホームステイ経験を通して出会った仲間、家族、ご支援いただいた方々への
想いを込め作詞作曲したオリジナルソング「君がいるから」。
日本を代表するアーティストを手がける音楽プロデューサーYANAGIMAN
氏のプロデュースにより新たな命が吹き込まれたこの曲を初披露します。



つくく♂ 参加決定!

クミコさんのライブステージで披露される子守歌
「うまれてきてくれてありがとう (作詞:湯川れい子、
作曲:つくく)」で、ご登壇して頂けることになりました。

つくく♂ Tsukuku ♂



チャリティオークション Charity Auction



メリル・ストリーブ
サイン入りフォト



デレク・ジーター
サイン入りユニフォーム



マンチェスターユナイテッド
2014~2015選手
サイン入りユニフォーム



エルビス・コステロ
サイン入りギター

その他セレブリティのサイン入りグッズなど、約50品以上出品!

※当日は、VISA、MASTER、AMERICAN EXPRESSをご使用頂けます。

ヤフオク! 特設サイト reU funding
にてレアアイテム好評出品中!
<http://reu.auctions.yahoo.co.jp/>

3.11 Yahoo!
ネット募金開始



2017年3月11日より「Yahoo! ネット募金」から
Support Our Kidsプロジェクトへ寄付できるようになります。
皆様の継続的なご支援をお願い申し上げます。

■日時: 平成29年3月22日(水)
受付開始 18:00 *同時にサイレントオークション開始
開場 18:30/開会 19:00

■定員: 先着450名(着席/卓盛ディナー)
※席数に限りがありますので、お早めにお申込み下さい。

■主催: Support Our Kids 実行委員会

■共催: 八芳園

■内容: ①2016年活動報告 ④チャリティライブ
②東北児童スピーチ ⑤チャリティオークション
③ホスト国大使挨拶

■出演: クミコ、YANAGIMAN、佐藤 玲花

■司会: 秋沢 淳子 (TBSアナウンサー)

〈チケットの購入方法〉

ローチケ HMV

ローソンチケット電話予約センター (オペレーター受付/10:00~20:00)
tel:0570-000-777 Lコード:77453 <http://l-tike.com/event/sok/>

■来賓: 各国駐日大使館大使
■会費: ①テーブル25万円/1卓10席
※テーブルパッケージは、10席となります。(優先配置)
②スタンダード2万円/1席

※東日本大震災被災児童自立支援チャリティ企画として開催。本公演の収益は、全額、Support Our Kidsの東日本大震災被災児童自立支援活動に充当されます。

(お問い合わせ) NPO法人 次代の創造工房 ☎ 03-6272-6252 <http://support-our-kids.org> www.facebook.com/jidai.or.jp

Support Our Kids
ひとりじゃないよ

Support Our Kids

“東日本大震災被災児の自立支援”“復興のリーダーづくり”を目的に発足。主たる活動は、世界12カ国の大使館や外務省と連携し実施している「海外ホームステイを通じた被災児の自立心育成活動」。これまでに海外に渡った子ども達は342名を数える(2017年2月現在)。「世界」「歴史」「多くの人々の温もり」に触れ、帰国した子ども達は、「今度は自分達が誰かの為に」と自発的に、復興プロジェクト「HABATAKI」を始動。ひとりでも多くの子ども達が自らの手で明るい未来を切り拓いてゆけるよう、理解と支援の環を拡げながら震災から10年、2020年まで活動を継続する。

ホームステイプログラム 2015～2016活動報告

スイス・ポーランド



終戦70年を節目に、アウシュビッツ解放70年のポーランドと永世中立国スイスをめぐり、復興と平和について学ぶ。日本国大使館、国際赤十字・赤新月社連盟、アウシュビッツ強制収容所訪問。日本美術博物館を設立したアンジェイ・ワイダ監督と対面。現地の大学生、高校生たちと交流。(6名参加)

2015年
12月

アイルランド



外務大臣、ダブリン市長、日本国大使館、World Rugby を表敬訪問し震災プレゼンテーションを実施。語学学校に通い、異文化交流を行う。アイルランド剣道連盟と交流会。トリニティ大学見学。サッカー、ゲーリックフットボール観戦。(9名参加)

2016年
7月

オーストラリア



豪日交流基金の一部助成により実施。クイーンズランド州政府教育機関協力のもと、現地高校に通学。震災プレゼンテーションや日本文化を伝えた。現地小学校にも訪問。アボリジニダンス体験。ブリスベン市内、ローンパイン・コアラサンクチュアリ観光。(9名参加)

ニュージーランド



オークランドとクライストチャーチに滞在。市長を表敬訪問し、震災プレゼンテーションを実施。SOK名誉会長ケネディ夫妻と仙台市から寄贈された電灯を見学。現地高校通学。Game of Englishラグビー体験。(10名十OBの引率アシスタント1名参加)

8月

カナダ



現地日系人と交流し、苦しい環境でも夢をもってチャレンジするフロンティアスピリットを学ぶ。サマーキャンプに参加し、アクティビティを通じて現地の方々と交流。トロント市庁舎表敬訪問。ロータリークラブ交流。テーブルマナー教室。ナイアガラ観光。(8名参加)

アメリカ



ロサンゼルス、モンレー、サンフランシスコに滞在。MAZDA社、寺田陽次郎さんの協力のもとレースを観戦。サーキット走行も体験。ドジャーススタジアムにて前田健太選手と交流。野球観戦。スタンフォード大学、NASA、Google見学。(10名参加)

参加生徒の声

福島県いわき市 中学2年 女子

受身の姿勢で参加してしまったホームステイ、最初の三日から四日は泣きっぱなしでした。ステイ先に居場所を感じる事ができなかったのです。しかし、これは私が悪いわけではないと頑なに思っていました。窓を開けているのに何もしてこないほうが悪いと思っていたのです。自分の目的も、このプロジェクトの目的も、何も達成しておらず、何もできない申し訳なさで泣いていました。一週間が過ぎそうとき、「これじゃあだめだ!」とやっと思ひ、積極的に話しかけたり、リビングに居座ってみたり、仲良くなろうと自分から頑張ってみました。それから、仲良くなれて、最後にはお互い泣くくらい別れが惜しくなっていました。最後までうまく何も伝えられなかったし、迷惑もたくさんかけて、恥ずかしいこともたくさんして、それでももっと一緒にいたかったなと思いました。

私はこのホームステイで本当の自立について考えました。私がこのホームステイで思った本当の自立とは、「与えられた状況下でいかにうまくやるか」ではなく、「与えられた状況をいかに自分で考え、動き、この状況を打開するか」です。このホームステイは私の自立に大きなチャンスを与えてくれました。無駄にしないよう、また私がホームステイするにあたって関わってくださったすべての方々への感謝を忘れず、精一杯頑張りたいと思います。

寄附という形でSupport Our Kidsの活動を支援してください。

弊会では、震災から10年間(2020年まで)被災児童の自立支援活動を継続して参ります。

ひとりでも多くの子ども達に海外経験を通して自立のきっかけを掴んでもらいたい!これが弊会の願いです。

ひとりでも多くの被災児童が、自らの手で明るい未来を切り拓いていけるように、皆様の温かいご支援、宜しくお願い致します。

寄附金お振込み先: ゆうちょ銀行

※記録管理のため、お振込の際は必ず振込名義人のはじめに「322」とご入力下さい。(例)322ヤマダタロウ

他行からゆうちょ銀行に
お振込み頂く場合

支店名: 〇一九店(ゼロイチキョウ)
預金種目: 当座
口座番号: 0358733 (7桁)
名義: トクヒ)ジダイノソウゾウコウボウ

郵便局から
お振込み頂く場合

記号: 00100-5
番号: 358733 (6桁)
名義: トクヒ)ジダイノソウゾウコウボウ